

令和4年度徳島市地域公共交通会議 議事録

日時：令和4年6月27日（月）午前10時～午前10時40分

場所：徳島市役所 本庁舎13階 第一研修室

- ・欠席者 0人
- ・傍聴者 0人

【会議次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ（折野第二副市長）
- 3 委員の紹介（5名の委員が交代したため、新しい委員を紹介）
- 4 協議事項
 - （1）市バス路線の整理・再編について
 - （2）生活交通確保維持改善計画案の承認について
 - （3）その他
- 5 閉会

【協議事項の議事概要】

設置要綱第6条により会長が議長となり、議事進行を執り行う。

協議事項（1）市バス路線の整理・再編について、事務局から資料1の説明。

会長：ただいま説明のありました内容につきまして、ご質問・ご意見はございませんか？

委員：川内循環線の変更について、廃止となる川内・松茂線の現在の便数はどのくらいか。また廃止ということで、全体として便数が減ることだが、その点はいかがか。

神山線（名東経由）についても、どの程度の便数が廃止となるのか。

事務局：川内・松茂線は、平日上下とも7便ずつの計14便、土日祝日は上下とも6便ずつの計12便が廃止となる。

神山線（名東経由）について、平日は上り6便、下り5便の計11便、土日祝日は上り5便、下り4便の計9便が廃止となる。

なお、神山線（延命経由）は平日が上り4便、下りが2便の増、土日祝日は上下とも2便の増となる。

委員：全体としてもかなりの減便になっている。市バスも1便ずつ減便という案になっており、もともと利用者が少ない便であったかと思うが、サービスの低下ということで懸念がある。時刻表も見直しているの、不便にはならないとは思いますが、住民への説明はしっかり行ってほしい。

委員：再編にあたって、地域の人やコミュニティ協議会などに意見を聞いたのか。また、川内循環線について、資料の表では前野経由便は変更後に0便となっているが、どういうことか。

事務局：地域への説明について、4月に各コミュニティ協議会長に説明に行った。また、川内北小学

校と協議してダイヤを調整した。今後、周知・広報を行っていききたい。前野経由便について、加賀須野経由は前野も経由するため、資料の表では加賀須野経由に含めた。

会長：ほかにご意見などもなければ、市バス路線の整理・再編案については、案のとおり承認していただいてよろしいでしょうか？

－ 承認 －

協議事項（２）生活交通確保維持改善計画案の承認について、事務局から資料２の説明。

会長：ただいま説明のありました内容につきまして、ご質問・ご意見はございませんか？

委員：上八万コミュニティバスですが、令和３年度は非常に厳しい状況であった。今回の申請では991人の利用を予想したが、これを達成するためにも、様々なイベント開催などを市から提案してはどうか。

事務局：ご指摘のとおり、令和３年度は利用者数が少なかったが、令和４年度は、運行ルートの変更を行い、５月の実績は188人と増加した。市としても運営委員会に働きかけてこの人数を維持できるようにと考えている。またイベント等について、７月に運行ルート変更記念イベントを行う予定なので、その状況も見ながら市として今後支援を行っていくこととしている。

委員：目標人数を設定しているが、１便あたり何人で計算しているのか。

事務局：川内循環線、渋野線については平日、土日祝日の平均利用者数を予測し、そこから年間の目標を設定し、応神ふれあいバスはこれまでの実績から年間利用者数を算出、上八万コミュニティバスは５月の実績により推計している。

川内循環線の１便あたりの乗車人数はおよそ10人、渋野線はおよそ7人、応神ふれあいバスは1.8人である。

委員：この計画についてはこれでいいと思うが、コミュニティバスについて、利用の低迷が続くようであれば将来的には見直しが必要かと思う。デマンド型などを含めて長期的には検討する必要があると思う。

事務局：ご指摘のとおり、コミュニティバスについては地域住民が使いやすいように協議していく必要がある。デマンド型などは各地の状況を見ながら引き続き検討していく。

会長：ほかにご質問・ご意見がなければ、生活交通確保維持改善計画案について、事務局案のとおりご承認いただいてよろしいでしょうか？

－ 承認 －

会長：本日の議事はすべて終了しましたので、事務局に進行をお返しします。委員の皆さんには、議事の円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

以 上